

# 集落営農型法人の次世代継承を図るために

## 甲賀農業普及指導センター

### 【普及活動のねらい・対象】

平成30年3月末時点で、甲賀地域には集落営農型法人が39組織設立されていますが、組織の次世代継承を不安視する組織が増えてきています。

そのため、甲賀地域集落営農法人連絡協議会（以下、協議会）を対象に、次世代継承を図るための手法の事例を研究し、集落内の合意を図る「地域診断」の取組をモデル法人で行いました。

### 【普及活動の内容】

協議会で次世代継承の課題解決を研究する中、次世代の組織への参画意識が低い原因として、「農に関わらさない、活躍できる場を設けない、情報を与えない。」といった、親世代や村全体の風潮が関係し、農に対する無関心が強まっているのではないか、という結論に行き当たりました。

そこで、「集落の次世代が住み続けたい農村の姿」を話し合う、モデル地域を設けました。

### 【普及活動の成果】

「地域診断」は、ワークショップの手法の一つで、通常は数日間かけるワークショップを1日で完了させることが特徴です。

普及指導センターは、あらかじめ集落の役員と打合せを行い、当日はファシリテーターとして進行と意見の集約する役割を務めました。

その結果、村の行事を見直し、世代を超えた行事や伝統のあるお祭りに集約する、「集落の働き方改革」を進め、住民が住み続けたい「むらの姿」をまとめることができました。

これらを受け、集落営農型法人も集落行事に参画し、次世代に農の魅力を伝達したり、活躍できる場の提供ができないか、検討が始まっています。



写真 付せん会議で集落のあるべき姿を描く

### ◎対象者の意見

課題となっていた集落行事の改革が動き出すきっかけとなった。おもしろい取組だと思う（農事組合法人U理事）。